

日時・場所	平成30年9月10日(月) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、遠藤環境経済部長、吉川教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・ 台風、大雨と続いている。慎重に対応願う。
- ・ 昨日25年ぶりにNHKののど自慢大会が市内で行われ、市民だけでなく近隣市からも出場があった。歌そのものも生き様、人生を歌うものであるが、歌い手それぞれにも人生の背景や生き様があり、また、文化や社会の出来事もよく分かる内容であった。まちづくりも同じで、市民それぞれの思いを受け止めて進めてほしい。
- ・ 問題があるのは駄目で、問題はあるよりない方がいいという価値観が一般的である。しかし、一般論でも議会答弁でもそうであるが、問題がないことを優先する余り、実は問題があるのに、問題を拾い上げず、見ず、隠して、いかにも問題がないように対応されている場合がある。問題がない状態を実現するためには、問題を摘出し、直視して、問題を解決するという方法を取らないといけない。問題を視野から外して問題がない状況を作るのではなく、問題を直視し解決する仕事の姿勢を取るように。

2. 報告事項

① 全員協議会への提出事項について

[所管:総務部]

報告事項5件、連絡事項5件を全員協議会に提出する。追加案件がある場合は早急に連絡願う。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 9月4日の台風21号について、10日現在で把握している被害状況について報告する。人的被害は2件で、いずれも軽症であった。建物被害は家屋や塀の損壊等が14件あった。公共施設の被害は、中主中での技術棟や体育館の屋根の飛散等、26件あった。避難については、自主避難所を野洲学区は人権センターに、野洲学区以外の学区は各コミセンに開設し、25世帯47人が避難された。自治会でも避難所を開設されたところがあり、妙光寺で5人が自主避難をされた。今回の台風で、市町村広域災害ネットワークからの支援要請があり、泉大津市へブルーシート200枚を9月5日に提供した。(市民部)
- ・ 北海道胆振東部地震においては、義士親善友好都市による災害応援協定を締結している砂川市から、停電があった他は人的・物的被害はないという報告を受けている。(市民部)
- ・ 台風21号の被害による予算措置については、議会会期中であることから、予備費ではなく追加補正で対応する。(政策調整部)
- ・ ロードマップの中間ヒアリングのための入力作業は先週金曜日が提出期限であったが、台風対応で間に合わなかった部においては、本日中に提出を願う。(政策調整部)

5. 次回部長会議の予定

9月18日(火) 15時00分～ 庁議室